

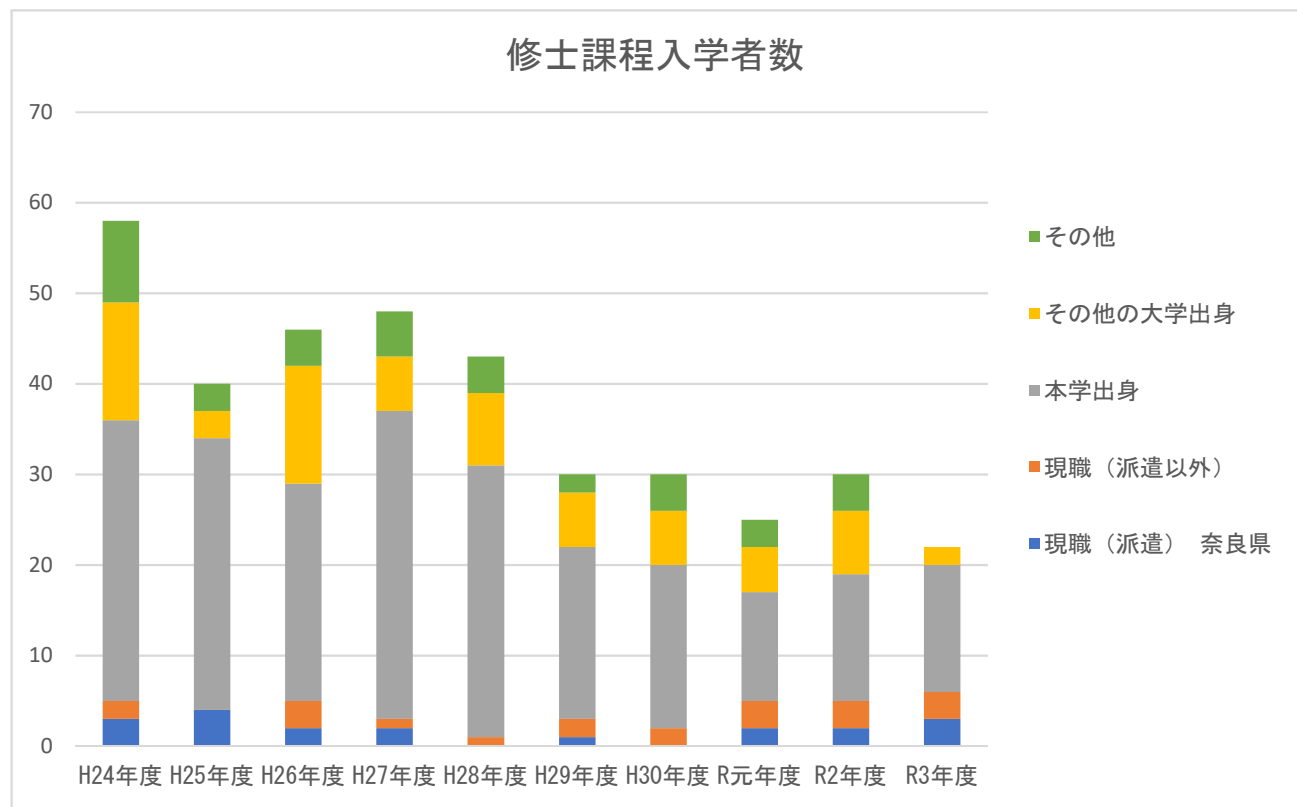
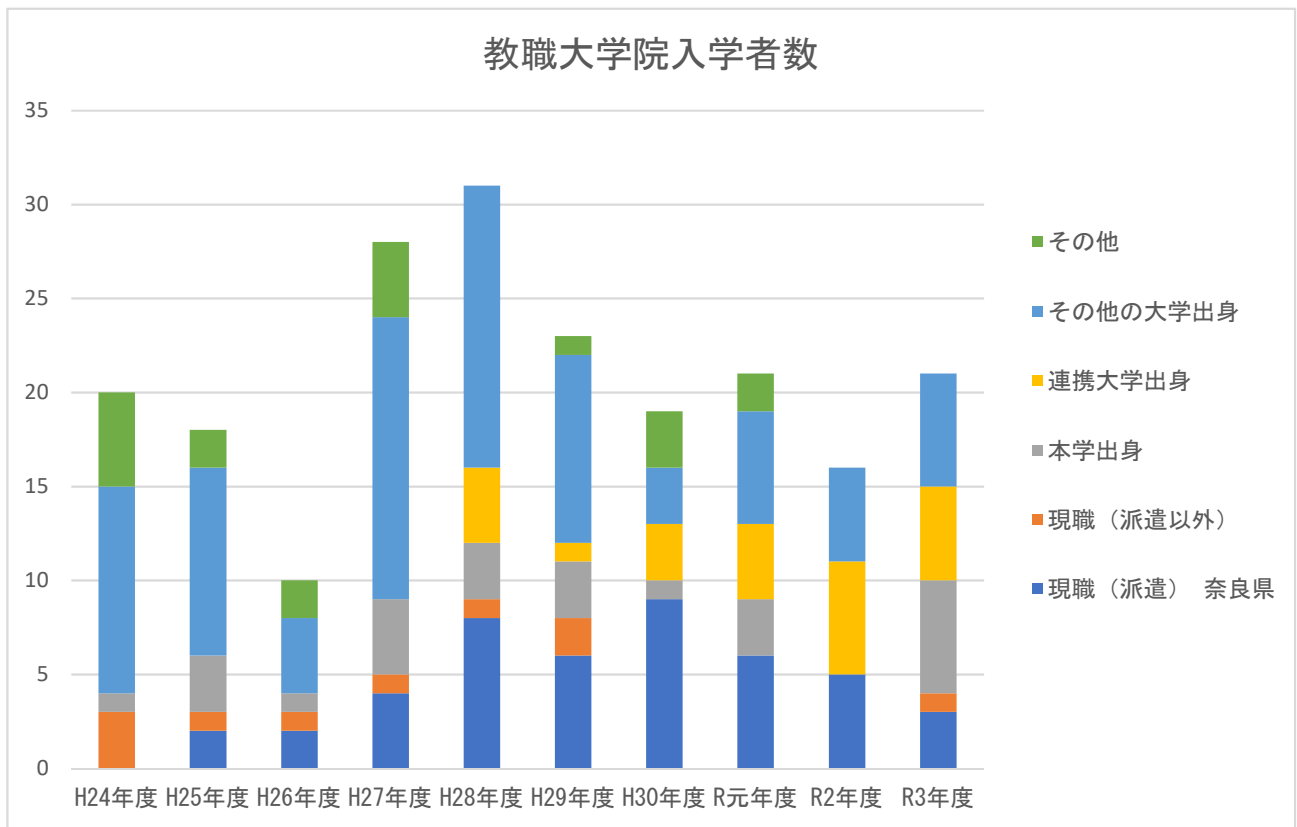
学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

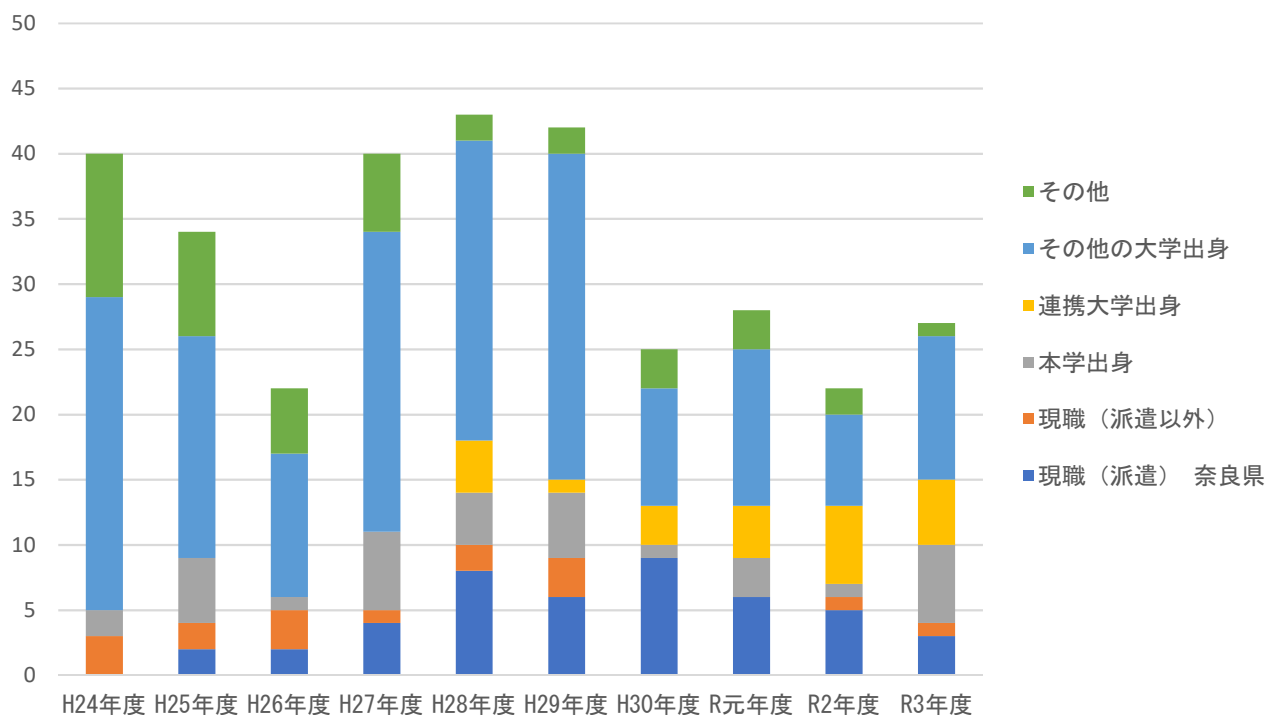
資料1	大学院の入学者・志願者数の推移	1
資料2	大学院の留学生入学者・志願者数の推移	5
資料3	研究生の受入実績数	6
資料4	改組後の修士課程担当予定教員の院生受入実績数	7
資料5	修士課程に関するアンケート調査結果	8
資料6	奈良教育大学大学院への要望書	23
資料7	奈良県内企業や就職実績のある企業を対象としたアンケート結果	27

大学院の入学者・志願者数の推移

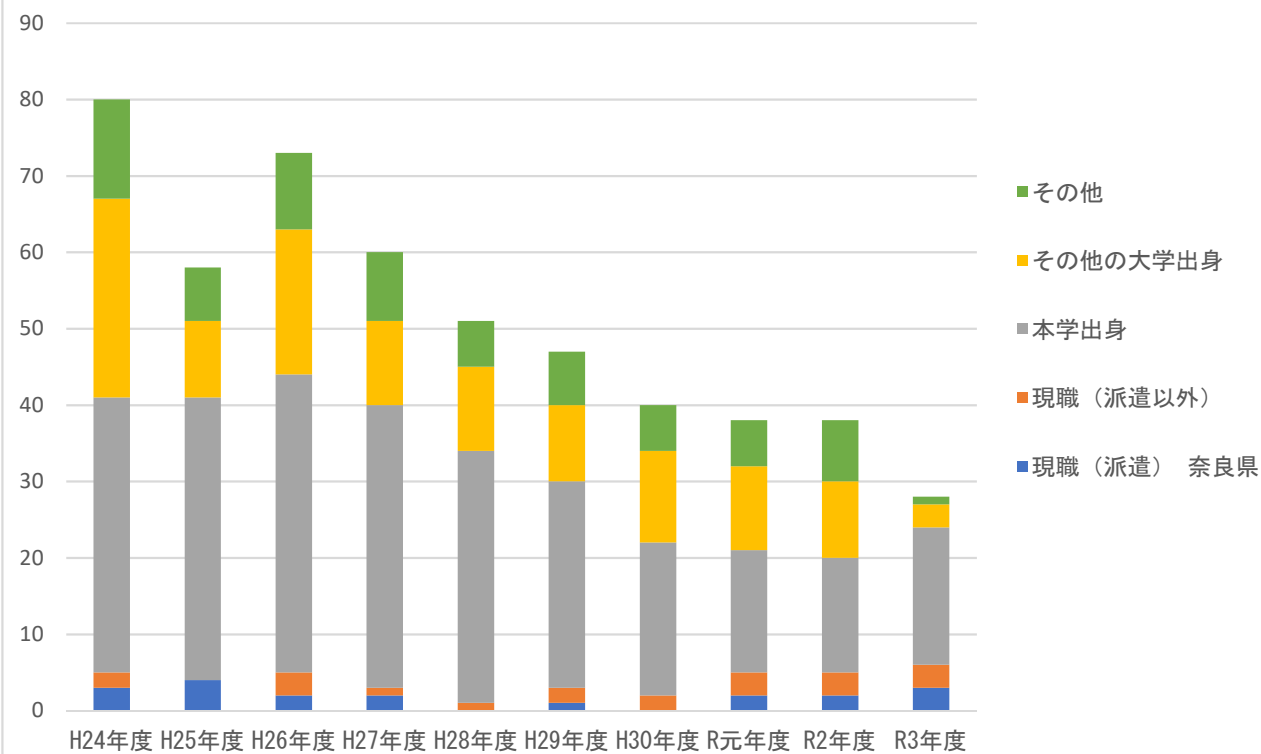
資料 1



教職大学院志願者数



修士課程志願者数



教職大学院入学者数

(令和3年4月1日現在)

	現職（派遣）		ストレート			その他	合計
	奈良県	現職（派遣以外）	本学出身	連携大学出身	その他の大学出身		
H24年度	0	3	1	0	11	5	20
H25年度	2	1	3	0	10	2	18
H26年度	2	1	1	0	4	2	10
H27年度	4	1	4	0	15	4	28
H28年度	8	1	3	4	15	0	31
H29年度	6	2	3	1	10	1	23
H30年度	9	0	1	3	3	3	19
R元年度	6	0	3	4	6	2	21
R2年度	5	0	0	6	5	0	16
R3年度	3	1	6	5	6	0	21

修士課程入学者数

(令和3年4月1日現在)

	現職（派遣）		ストレート		その他	合計	夜間主（内数）
	奈良県	現職（派遣以外）	本学出身	その他の大学出身			
H24年度	3	2	31	13	9	58	
H25年度	4	0	30	3	3	40	
H26年度	2	3	24	13	4	46	
H27年度	2	1	34	6	5	48	
H28年度	0	1	30	8	4	43	
H29年度	1	2	19	6	2	30	1
H30年度	0	2	18	6	4	30	
R元年度	2	3	12	5	3	25	
R2年度	2	3	14	7	4	30	
R3年度	3	3	14	2		22	

教職大学院志願者数

(令和3年4月1日現在)

	現職（派遣）		ストレート			その他	合計
	奈良県	現職（派遣以外）	本学出身	連携大学出身	その他の大学出身		
H24年度	0	3	2	0	24	11	40
H25年度	2	2	5	0	17	8	34
H26年度	2	3	1	0	11	5	22
H27年度	4	1	6	0	23	6	40
H28年度	8	2	4	4	23	2	43
H29年度	6	3	5	1	25	2	42
H30年度	9	0	1	3	9	3	25
R元年度	6	0	3	4	12	3	28
R2年度	5	1	1	6	7	2	22
R3年度	3	1	6	5	11	1	27

修士課程志願者数

(令和3年4月1日現在)

	現職（派遣）		ストレート		その他	合計	夜間主（内数）
	奈良県	現職（派遣以外）	本学出身	その他の大学出身			
H24年度	3	2	36	26	13	80	2
H25年度	4	0	37	10	7	58	3
H26年度	2	3	39	19	10	73	0
H27年度	2	1	37	11	9	60	0
H28年度	0	1	33	11	6	51	0
H29年度	1	2	27	10	7	47	0
H30年度	0	2	20	12	6	40	1
R元年度	2	3	16	11	6	38	0
R2年度	2	3	15	10	8	38	0
R3年度	3	3	18	3	1	28	2

修士課程入学者数

	留学生	研究生出身 (内数)	留学生のうち、研究 生出身者の割合
H29年度	7	5	71%
H30年度	14	12	86%
R元年度	8	8	100%
R2年度	4	3	75%
R3年度	6	5	83%

資料 3

	研究生受入問合せ件数	研究生受入実績数／見込数	留学生（大学院生）受入人数／見込数	うち、研究生出身者の人数／見込数	備考（詳細メモ）
H29	65	15	2	2	教研究生含む
H30	72	5	4	2	
H31	81	2	5	3	修士課程の構想が見通せなかったため、研究生受入を控えた教員が多かった
R2	83	4	3	2	修士課程の構想が見通せなかったため、研究生受入を控えた教員が多かった
R3	-	14	6	4	後期受入見込みを含む

※専任となる予定の教員を対象とした

改組後の修士課程を担当予定の教員の院生受入実績等

	H27年度修了		H28年度修了		H29年度修了		H30年度修了		R元年度修了	
	修了者数	教員以外就職者数	修了者数	教員以外就職者数	修了者数	教員以外就職者数	修了者数	教員以外就職者数	修了者数	教員以外就職者数
教員別	10	7	11	10	6	4	11	8	10	8

学長からアンケートのお願い（学部1・2・3回生対象）

奈良教育大学は、令和4年度に大学院を改編する予定です。この計画の実現に向け、学生の皆さんの意見をお聞きしたいと思います。

ついては、下記アンケートのご協力をお願いいたします。

なお、無記名で行いますので、回答結果が個人の不利益になることはありません。ありのままの回答をお願いいたします。

2月28日（日）までに、是非お願いいたします。

令和2年2月 奈良教育大学学長 加藤久雄

※その他を選んだ場合は具体的な内容を回答ボックスに入力してください。

まず、新しい大学院のあらましをお読みください。

【新教職大学院】

1. 教員を養成する大学院であり、学部で身に付けたものの上に、高度な実践力を育成します。
2. 修了すると、専修免許と「教職修士（専門職）」の学位が取得できます。
3. 以下の領域を学ぶことができます。
 - ① 学校経営／教育行政／チーム学校／カリキュラムマネジメント／校内研修
⇒「学校組織マネジメント」
 - ② 学級づくり／児童・生徒会活動／クラブ活動／学校行事等
⇒「学級づくり・特別活動マネジメント」
 - ③ SDGs／ESDカリキュラム／ESDホールスクールアプローチ／総合的な学習の時間等
⇒「ESDマネジメント」
 - ④ 学校におけるICT環境整備／情報教育／教育のためのデータサイエンス／プログラミング教育等
⇒「教育情報化マネジメント」
 - ⑤ 生徒指導／心理・教育臨床／カウンセリング／教育相談／キャリア教育等
⇒「生徒指導・カウンセリング」
 - ⑥ 乳幼児の保育／幼稚園・保育所・こども園／家庭福祉／子育て支援等
⇒「幼年教育」
 - ⑦ インクルーシブ教育／通常学級における支援／ユニバーサルな授業デザイン
⇒「インクルーシブ教育」
 - ⑧ 各教科等教育（国語・社会・算数数学・理科・英語・小学校外国語・音楽・図工美術・技術・家庭科・保健体育・道徳教育・総合的な学習の時間・教科横断）／防災・安全教育
⇒「教科教育」

【新修士課程】

1. 伝統文化（書道を含む）教育・国際理解教育について研究します。
2. 学校教員養成が目的ではありませんが、教育の素養を養いながらも、次のような多様な場でSDGsの実現に向けた活動に貢献できる力量をつけることができます。
○研究所、大学院博士課程、博物館、地方自治体の文化財関係部署、文化財・書道関係企業、教育・文化に関する国際協力機関、国内外の教育行政機関、教育関係企業、海外の日本語教

- 本学修士課程で「シティズンシップ教育・SDGs」について学びたい
- 本学修士課程で「国際理解教育一般」について学びたい
- 他大学の大学院で学びたい
- 海外の大学院で学びたい

1 1. 1 0. において「教科教育について学びたい」と答えた方にお尋ねします。学びたい教科名を教えてください。

教 科 名

()

1 2. 奈良県の教員（幼稚園教諭・保育士・保育教諭・養護教諭を除く）を希望している方（第2希望も含め）にお尋ねします。奈良県教員採用試験に合格し、かつ、本学教職大学院に合格すると、次のような「特例措置」があります。

-
- ・1年目は本学教職大学院で学び、2年目に採用され、勤務が始まる。
 - ・2年目は教職大学院教員が勤務校に出向いたり、オンラインを活用したりして指導を受ける。
 - ・1年目の授業料は、2年目に給与を得てから納入することができる。
 - ・2年目の授業料は免除される。
 - ・大学院入試は、小論文と面接のみである。
 - ・2年目に受けなければならない初任者研修は大幅に免除される。
 - ・専修免許、教職修士（専門職）の学位が得られる。
-

- この制度を活用して、本学教職大学院にぜひ進学したい
- この制度を活用して、本学教職大学院への進学を前向きに検討したい
- この制度を活用するつもりはない
- 現時点ではわからない

学部学生アンケート結果集計結果

1. あなたは何回生ですか。	回答数
1回生	188
2回生	125
3回生	134

3. あなたは留学生ですか。	回答数
はい	2
いいえ	445

4. 現時点で、学部卒業後の進路はどのように考えていますか。第1希望を教えてください。	回答数
教員就職（幼稚園教諭・保育士・保育教諭を含む）	293
大学院進学	40
企業就職	40
（教員・保育士以外の）公務員就職	17
未定	53
その他	4

5. 4.において「教員就職」と答えた方にお尋ねします。第1希望とする学校種について教えてください。	回答数
幼稚園・保育所・認定こども園	14
小学校	106
中学校	87
高等学校	67
特別支援学校	11
養護教諭	4
その他	3

6. 4.において、「教員就職」と答えた方にお尋ねします。第1希望とする就職したい県・地域について教えてください。	回答数
奈良県・奈良県内の市町村	108
大阪府	40
大阪市	13
豊能地区	4
堺市	5
京都府	13
京都市	2
兵庫県	18
神戸市	9
三重県	6
滋賀県	4
未定	21
その他	48

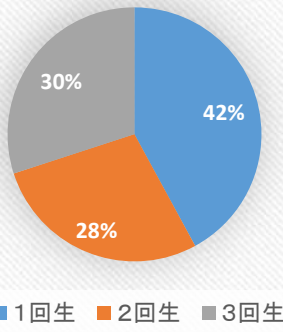
7. 4.において、「教員就職」と答えた方にお尋ねします。第1希望として、学部卒業後に「大学院進学」を考えない理由を教えてください（複数回答可）。	回答数	第1希望として教員就職を希望かつ重複を除く
第2希望として「大学院進学」を考えている	62	48
教員採用試験が不合格だったら「大学院進学」を考えている	38	
教員就職後、「現職教員派遣制度」（一時勤務を離れて大学院で学ぶ制度）を活用して大学院に進学したい	15	-
早く教壇に立ちたい	71	-
大学院で学びたいことはない	72	-
入学金や授業料等、経済的に負担がかかる	109	-
同期で教員就職した人たちより就職が遅れることに不安がある	34	-
入試に不安がある	26	-
その他	10	-

8. 4. において、「大学院進学」と答えた方にお尋ねします。進学希望の大学院について、第1希望を教えてください（本学大学院については上記を参照して下さい）。	回答数
本学教職大学院で「学校組織マネジメント」について学びたい	0
本学教職大学院で「学級づくり・特別活動マネジメント」について学びたい	0
本学教職大学院で「ESDマネジメント」について学びたい	1
本学教職大学院で「教育情報化マネジメント」について学びたい	0
本学教職大学院で「生徒指導・カウンセリング」について学びたい	2
本学教職大学院で「幼年教育」について学びたい	0
本学教職大学院で「インクルーシブ教育」について学びたい	2
本学教職大学院で「教科教育」について学びたい	8
本学修士課程で「伝統文化一般」について学びたい	0
本学修士課程で「美術工芸文化財学」について学びたい	5
本学修士課程で「書道文化・芸術」について学びたい	1
本学修士課程で「言語文化論」について学びたい	1
本学修士課程で「シティズンシップ教育・SDGs」について学びたい	1
本学修士課程で「国際理解教育一般」について学びたい	1
他大学の大学院で学びたい	17
海外の大学院で学びたい	1

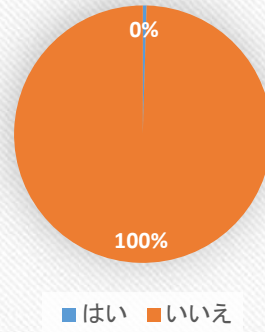
10. 4. において「大学院進学」以外を答えた方にお尋ねします。第2希望が「大学院進学」であったり、今後、「大学院進学」に進路希望が変わったりした場合、進学希望の大学院の学修領域について、第1希望を教えてください。	回答数
本学教職大学院で「学校組織マネジメント」について学びたい	8
本学教職大学院で「学級づくり・特別活動マネジメント」について学びたい	17
本学教職大学院で「ESDマネジメント」について学びたい	9
本学教職大学院で「教育情報化マネジメント」について学びたい	7
本学教職大学院で「生徒指導・カウンセリング」について学びたい	41
本学教職大学院で「幼年教育」について学びたい	11
本学教職大学院で「インクルーシブ教育」について学びたい	13
本学教職大学院で「教科教育」について学びたい	57
本学修士課程で「伝統文化一般」について学びたい	6
本学修士課程で「美術工芸文化財学」について学びたい	9
本学修士課程で「書道文化・芸術」について学びたい	13
本学修士課程で「言語文化論」について学びたい	0
本学修士課程で「シティズンシップ教育・SDGs」について学びたい	2
本学修士課程で「国際理解教育一般」について学びたい	4
他大学の大学院で学びたい	39
海外の大学院で学びたい	7

12. 奈良県の教員（幼稚園教諭・保育士・保育教諭・養護教諭を除く）を希望している方（第2希望も含め）にお尋ねします。奈良県教員採用試験に合格し、かつ、本学教職大学院に合格すると、次のような「特例措置」があります。	回答数
<ul style="list-style-type: none"> ・1年目は本学教職大学院で学び、2年目に採用され、勤務が始まる。 ・2年目は教職大学院教員が勤務校に出向いたり、オンラインを活用したりして指導を受ける。 ・1年目の授業料は、2年目に給与を得てから納入することができる。 ・2年目の授業料は免除される。 ・大学院入試は、小論文と面接のみである。 ・2年目に受けなければならない初任者研修は大幅に免除される。 ・専修免許、教職修士（専門職）の学位が得られる。 	
この制度を活用して、本学教職大学院にぜひ進学したい	17
この制度を活用して、本学教職大学院への進学を前向きに検討したい	44
この制度を活用するつもりはない	48
現時点ではわからない	132

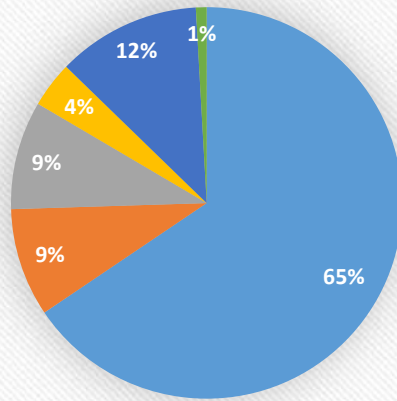
1. あなた何回生ですか



3. あなたは留学生ですか

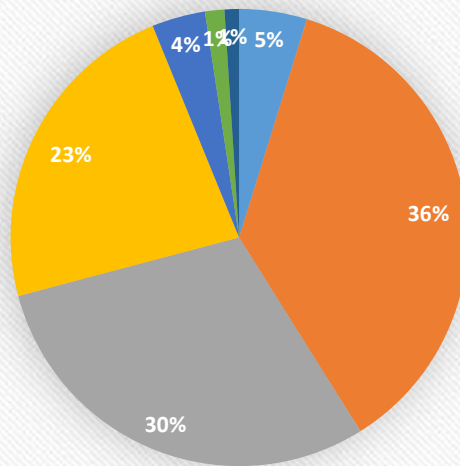


4. 現時点で、学部卒業後の進路はどのように考えていますか。
第1希望を教えてください。



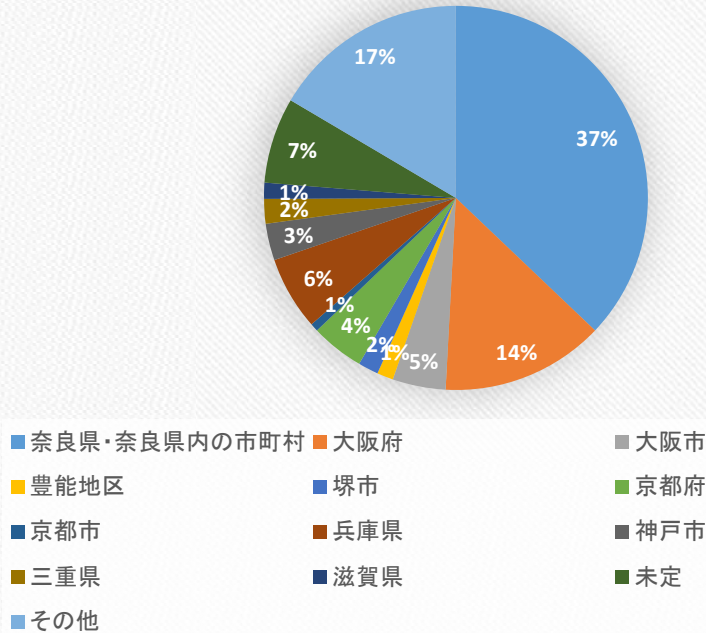
- 教員就職(幼稚園教諭・保育士・保育教諭を含む)
- 大学院進学
- 企業就職
- (教員・保育士以外の)公務員就職
- 未定
- その他

5. 4.において「教員就職」と答えた方にお尋ねします。
第1希望とする学校種について教えてください。

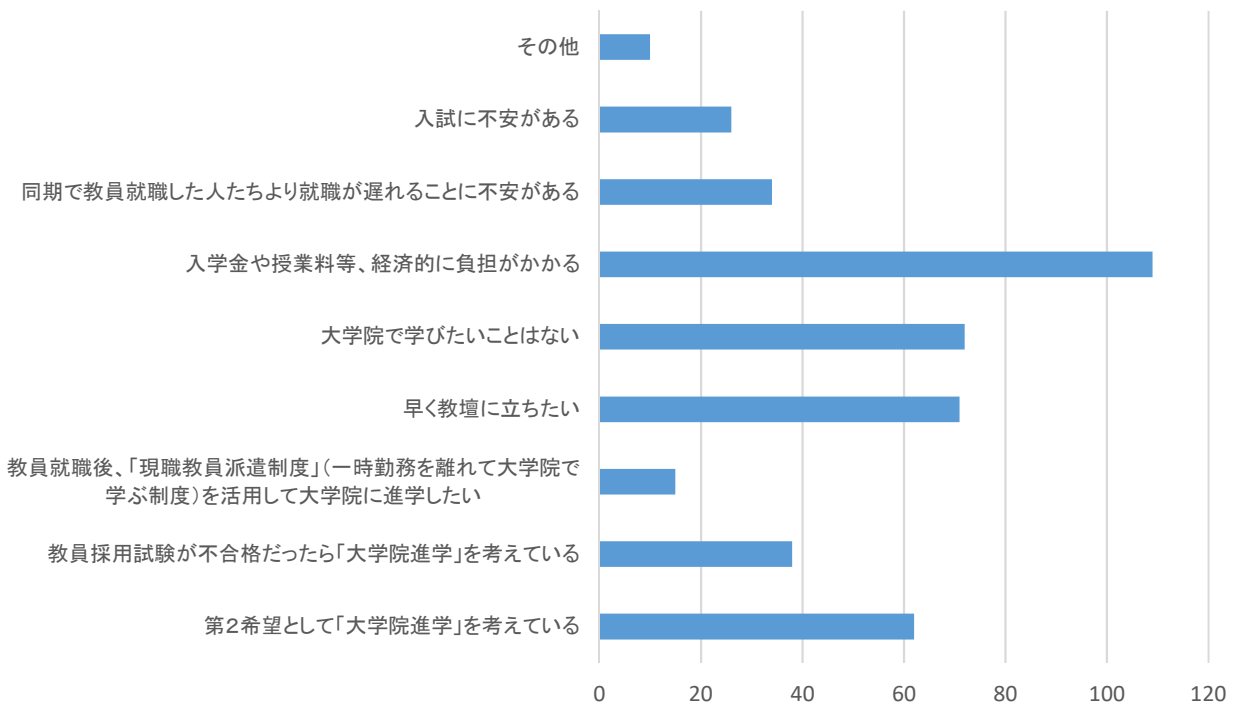


- 幼稚園・保育所・認定こども園
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 特別支援学校
- 養護教諭
- その他

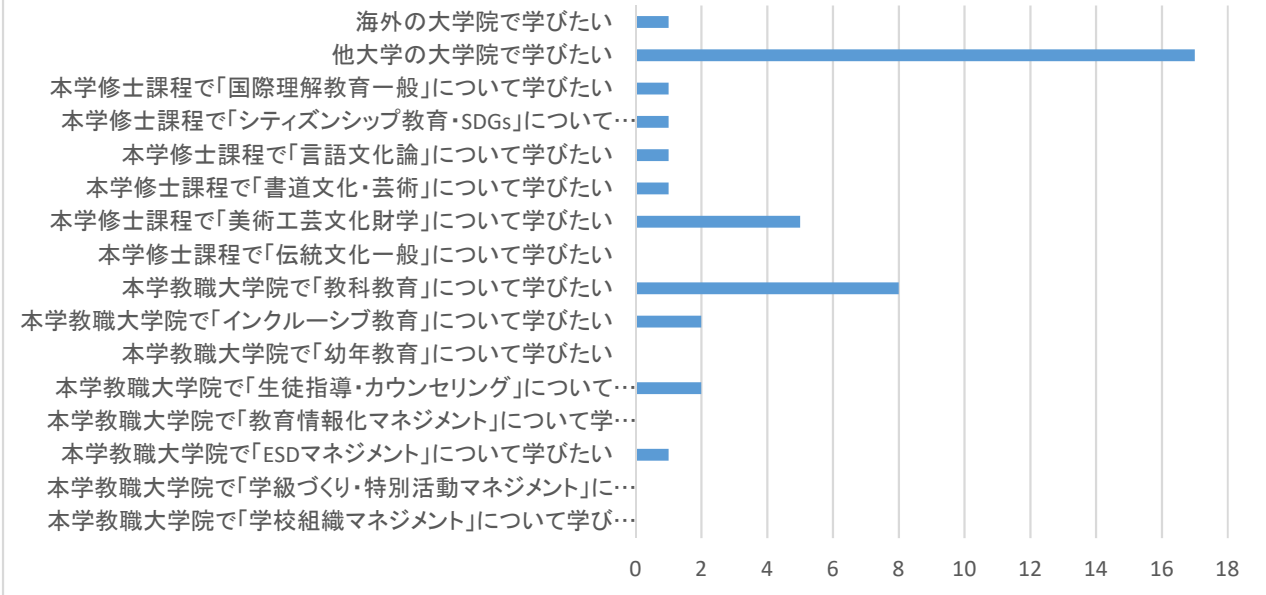
6. 4. において、「教員就職」と答えた方にお尋ねします。
第1希望とする就職したい県・地域について教えてください。



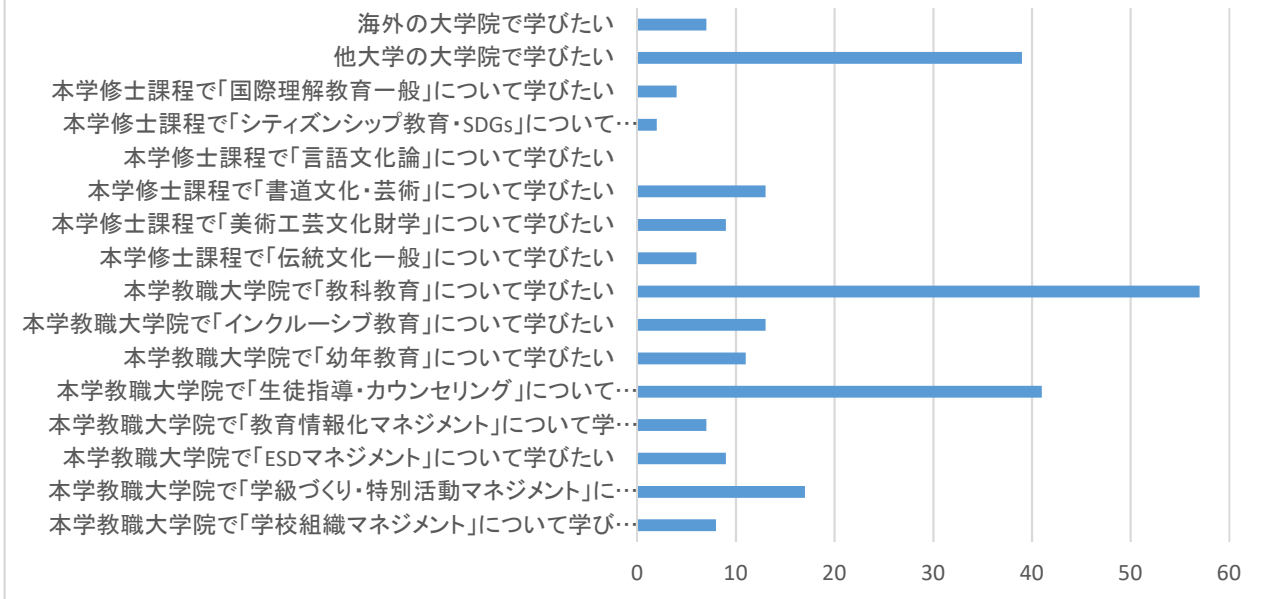
7. 4. で、「教員就職」と答えた方にお尋ねします。第1希望として、学部卒業後に
「大学院進学」を考えない理由を教えてください(複数回答可)。



8. 4. において、「大学院進学」と答えた方にお尋ねします。
進学希望の大学院について、第1希望を教えてください。

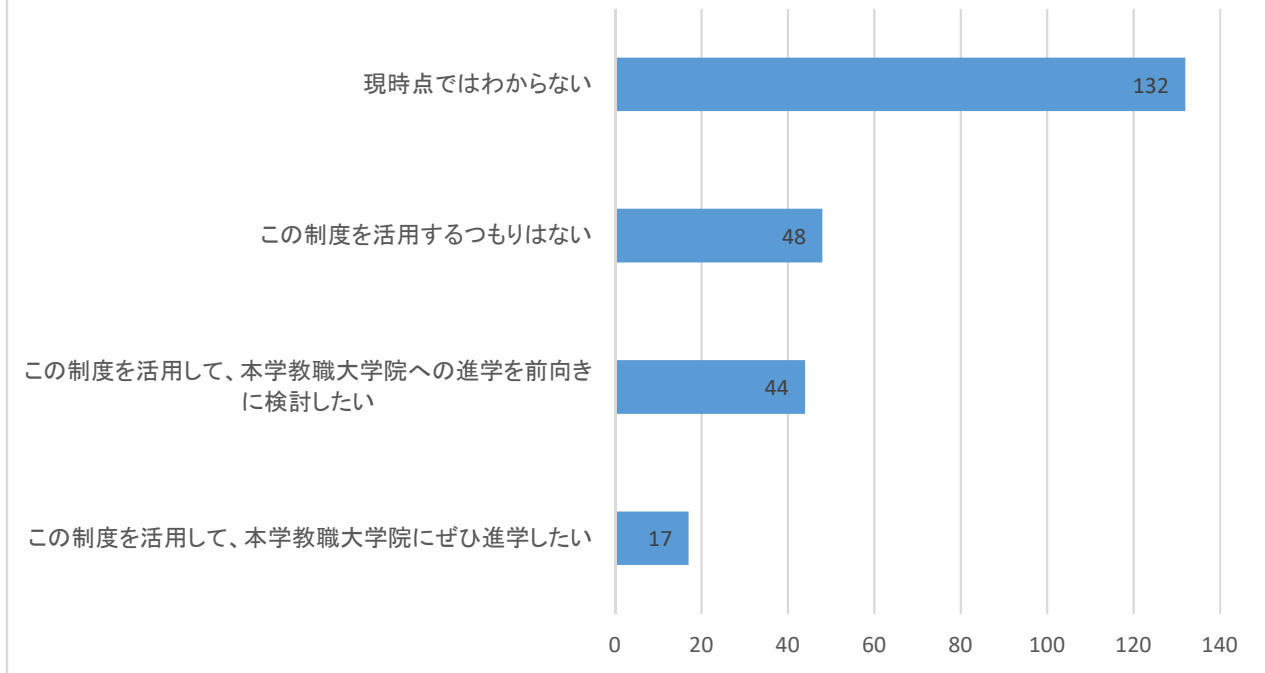


10. 4. において「大学院進学」以外を答えた方にお尋ねします。
第2希望が「大学院進学」であったり、今後、「大学院進学」に進路希望が変わったりした場合、進学希望の大学院の学修領域について、第1希望を教えてください。



学部学生アンケート調査結果集計

12. 奈良県の教員(幼稚園教諭・保育士・保育教諭・養護教諭を除く)を希望している方(第2希望を含め)にお尋ねします。奈良県教員採用試験に合格し、かつ、本学教職大学院に合格すると、次のような「特例措置」があります。



奈良県下公立学校現職教員を対象としたアンケート結果

所属／進学を希望する年度	A 奈良教育 大学大学院 専門職学位 課程（教職 大学院） 昼 間履修	B 奈良教育 大学大学院 専門職学位 課程（教職 大学院） 夜 間履修	C 奈良教育 大学大学院 修士課程 （昼間履修 のみ）	D その他の 大学の大学 院専門職学 位課程（教 職大学院）	E その他の 大学の大学 院修士課程	F 大阪教育 大学特別支 援教育専攻 科（1年） ※義務籍の み	G 京都教育 大学特別支 援教育専攻 科（1年） ※義務籍の み	合計
A 小学校	54	13	10	10	20	12	4	123
A 1年後に希望する（令和4年度）	5	4		1	2	1		
B 2～5年後に希望する（令和5年度～令和8年度）	39	6	7	5	12	6	3	
C 6～9年後に希望する（令和9年度～令和12年度）	9	3		2	3	4	1	
D 10年以上先に希望する（令和13年度以降）	1		3	2	3	1		
B 中学校	34	10	7	8	18	6	0	83
A 1年後に希望する（令和4年度）	7	1	1		3	2		
B 2～5年後に希望する（令和5年度～令和8年度）	22	7	3	8	11	2		
C 6～9年後に希望する（令和9年度～令和12年度）	2	1	1		3	2		
D 10年以上先に希望する（令和13年度以降）	3	1	2		1			
C 高等学校	51	15	15	13	33	1	2	130
A 1年後に希望する（令和4年度）	16	3	2	3	5			
B 2～5年後に希望する（令和5年度～令和8年度）	26	8	9	5	23	1	2	
C 6～9年後に希望する（令和9年度～令和12年度）	6	3	3	4	3			
D 10年以上先に希望する（令和13年度以降）	3	1	1	1	2			
D 特別支援学校	9	3	2	0	10	3	1	28
A 1年後に希望する（令和4年度）	3	2			2	2		
B 2～5年後に希望する（令和5年度～令和8年度）	4		1		7	1		
C 6～9年後に希望する（令和9年度～令和12年度）	2	1			1		1	
D 10年以上先に希望する（令和13年度以降）			1					

進学希望者数
総回答数

364
1615

【参考】令和4年度からの新しい奈良教育大学大学院の概要

専門職学位課程（教職大学院）

- ・ 教科教育を学ぶことができます。
- ・ G I G Aスクールの実現に向けた、I C T（G Suite for Education 等）の活用能力を高めることができます。
- ・ 生徒指導や学校カウンセリング、特別支援教育を学ぶことができます。
- ・ 現職教員は、1年目は大学院での研修を行い、2年目は勤務しながら研修することができます（2年間有給）。なお、授業料は1年目のみの徴収です。
- ・ 修士の学位及び専修免許を取得することができます。
- ・ 夜間履修することができます。

修士課程

- ・ 伝統文化教育や国際理解教育を学ぶことができます。
- ・ 現職教員は、1年目は大学院での研修を行い、2年目は勤務しながら研修することができます（2年間有給）。なお、授業料は1年目のみの徴収です。
- ・ 修士の学位を取得することができますが、専修免許は取得できません。
- ・ 夜間履修はできません。

※詳細は次のURLまたはQRコードで確認することができます。

URL : [R4kaisoPR_20201215.pdf \(nara-edu.ac.jp\)](https://www.nara-edu.ac.jp/~R4kaisoPR_20201215.pdf)

QRコード :



問1：現在の所属は？

- A 小学校
- B 中学校
- C 高等学校
- D 特別支援学校

問2：大学院等での修学希望はありますか？

- A ある → 問3以降へ
- B 勤務を離れること等の支障がなければ検討したい → 問3以降へ
- C ない → ありがとうございました。

問3：問2でA・Bを選ばれた方にお尋ねします。あなたが希望する大学院等研修は

- A 奈良教育大学大学院専門職学位課程（教職大学院） 昼間履修
- B 奈良教育大学大学院専門職学位課程（教職大学院） 夜間履修
- C 奈良教育大学大学院修士課程（昼間履修のみ）
- D その他の大学の大学院専門職学位課程（教職大学院）
- E その他の大学の大学院修士課程

- F 大阪教育大学特別支援教育専攻科（1年）
- G 京都教育大学特別支援教育専攻科（1年）

問4 あなたの大学院等研修を希望する時期はいつ頃ですか？

- A 1年後に希望する（令和4年度）
- B 2～5年後に希望する（令和5年度～令和8年度）
- C 6～9年後に希望する（令和9年度～令和12年度）
- D 10年以上先に希望する（令和13年以降）

ありがとうございました。

附属学校教員を対象としたアンケート結果

		回答者数	7	22	13	42
問1 新教職大学院での修学希望はありますか？		幼稚園	小学校	中学校	合計	
複数可	A 昼間希望有り	0	0	2	2	
	B 夜間希望有り	1	0	1	2	
	C 昼間で検討したい	1	2	1	4	
	D 夜間で検討したい	3	2	0	5	
	E 希望なし	3	20	10	33	
		8	24	14	46	

問2 問1でC・D・Eを選んだ者が回答		幼稚園	小学校	中学校	合計
複数可	A 入学金や授業料が免除されれば希望、または検討したい	3	5	2	10
	B 勤務を離れること等に支障がなければ昼間履修を希望、または検討したい	1	2	2	5
	C 勤務と並行すること等に支障がなければ夜間履修を希望、または検討したい	3	4	0	7
	D 希望はない	2	12	6	20
		9	23	10	42

問3 新修士課程での修学希望はありますか？		幼稚園	小学校	中学校	合計
A	希望がある	0	0	2	2
B	今後検討したい	2	3	1	6
C	希望はない	4	19	10	33
		6	22	13	41

問4 問3でB・Cを選んだ者が回答		幼稚園	小学校	中学校	合計
複数可	A 入学金や授業料が免除されれば希望、または検討したい	2	3	2	7
	B 勤務を離れること等に支障がなければ希望、または検討したい	3	2	2	7
	C 希望はない	3	15	6	24
		8	20	10	38

改組後の大学院での研修に係るアンケート

所属（○で囲んでください）： 附属幼稚園 附属小学校 附属中学校

- ・専門職学位課程（教職大学院）では専修免許を取得できます。修士課程では専修免許は取得できません。
- ・両課程とも修士の学位を取得できます。
- ・「昼間履修」とは、両課程とも2年間履修します。本学の大学院研修員や大学院修学休業の制度を使って修学することができます。
※大学院研修員は2年のうち1年目は勤務場所を離れて大学院での研修に従事し、2年目は勤務しながら研修に従事する制度（有給）。大学院修学休業は3年の範囲内で職務を離れて大学院で修学する制度（無給）。
- ・「夜間履修」とは、専門職学位課程（教職大学院）において、勤務時間外に履修します。長期履修制度（4年以内。授業料は2年間履修と同額）の活用も可能です。また、指導教員との相談により、夏季休業中や土日など柔軟な変更が可能です。
- ・専門職学位課程（教職大学院）の実習は、現職教員であることから1年次の実習は免除可能です。2年次の実習は所属の附属学校園で行います。

問1：新教職大学院での修学希望はありますか？（○で囲んでください。複数可。）

- A 昼間履修での希望がある。
- B 夜間履修での希望がある。
- C 昼間履修で今後検討したい。
- D 夜間履修で今後検討したい。
- E どちらも希望はない。

問2：問1でC・D・Eを選ばれた方にお尋ねします。（○で囲んでください。複数可。）

- A 入学金や授業料が免除されれば希望、または検討したい。
- B 勤務を離れること等に支障がなければ昼間履修を希望、または検討したい。
- C 勤務と並行すること等に支障がなければ夜間履修を希望、または検討したい。
- D 希望はない。

その他

問3：新修士課程での修学希望はありますか？（○で囲んでください）

- A 希望がある。
- B 今後検討したい。
- C 希望はない。

問4：問3でB・Cを選ばれた方にお尋ねします。（○で囲んでください。複数可。）

- A 入学金や授業料が免除されれば希望、または検討したい。
- B 勤務を離れること等に支障がなければ希望、または検討したい。
- C 希望はない。

その他

ありがとうございました。

奈良教育大学

学長 加藤 久雄 殿

奈良教育大学大学院への要望について

日頃から本市の教育行政にご協力いただき、お礼申し上げます。奈良市教育委員会においては、以下の点に注力しております。ついては、貴学大学院における教育内容のより一層の充実、とりわけ下記事項に関する人材育成の充実を図っていただきますようお願いいたします。

記

1 世界遺産学習に関して

奈良市では、世界遺産や地域遺産、伝統文化や自然環境等を通じて、地域に対する誇りや地域を大切に思う心情を育み、持続可能な社会の担い手を育成する学習である「世界遺産学習」に力を入れています。毎年開催されている「世界遺産学習全国サミット」は、教員の研修、子ども達の学習成果の発表、市民への啓発の場であり、世界遺産学習に関わる多様な人・分野・団体を結びつけ、「世界遺産学習」は、全国規模の活動に大きく深化・発展しました。奈良教育大学とは、約10年間にわたり、ともに取り組んできました。

この取組を持続的にさらに推進させるとともに本市の学校教育の充実発展のためには、新しい学習指導要領にある「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」を理解し、さらに世界遺産や伝統文化に関する知識を持つ教育人材が必要です。学校教員はもとより、地域住民も含め、ESDの観点から持続可能な社会の担い手の育成のリーダーとなる人材を奈良教育大学においてこそ、養成していただきたい。

2 英語教育と日本語指導に関して

奈良市では、「帰国・外国人児童生徒及び外国にルーツをもつ児童生徒」に対する日本語指導の取組を進めています。具体的には、帰国・外国人児童生徒及び外国にルーツをもつ児童生徒が、奈良市立学校において教育を受ける際、授業を理解し、安心して学校生活を送ることができるよう、児童生徒や家庭、教員、学校に対して支援を行います。また、日本語指導の充実・推進により、本市すべての児童生徒に対して学力の基盤となる日本語力の向上を図ります。

この取組の推進のためには、日本人、外国人問わず、外国人に対する理解、日本の文化に対

する理解、文化の違いに対する理解、日本語教育に関する素養を持った人材が必要である。また、これらの力に加え、教育支援を行うにあたり、学校教員相応の教える力や教育や教育方法に関する理解を有し、外国人留学生との共修により国際理解教育の知見を得た人材が必要である。貴学の新修士課程は、本市の進める「地域で決める学校予算事業」に参画する地域コーディネーターの学修の場としても期待される。

他方で、奈良市では、全市立小学校へ英語に堪能な地域人材を英語アシスタントとして派遣し、各小学校の教員が行う外国語科の授業を支援しています。英語によるコミュニケーション活動を通じて、言語や文化に対する興味・関心を高め、主体的に人や社会と関わろうとする態度を養い、教室での学びをきっかけに世界に目を向け、世界遺産や豊かな自然にあふれる奈良市の魅力を発信しようとする、21世紀の社会をたくましく生き抜く人材を育成します。

これらに適う人材を奈良市にある教員養成大学である奈良教育大学において養成していただきたい。

以上

令和3年3月29日

奈良市教育委員会教育長

北谷 雅人 印



令和3年3月23日

奈良教育大学

学長 加藤 久雄 様

奈良国立博物館長

松 本 伸 之



奈良教育大学大学院改組に係る要望について

貴学が予定されている大学院改組について、以下の通り要望いたします。

博物館においては、ファシリテーターとして、特に子どもたちにヒントを与えるという形で、「教える」ということが大変重要な活動となっています。子どもたちが、自発的、主体的に文化財の素晴らしさを知り、自分で考える力を養い、想像力を発揮できるよう、その第一歩をアシストするのが、我々博物館の大きな役割のひとつです。

貴学大学院は、これまで、「生誕 800 年記念特別展 忍性－救済に捧げた生涯－」(平成 28 年)をはじめ当館の夏の特別展において子ども向けワークショップを開催し、令和 2 年度にはコロナ禍のもと特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」関連の子供向けワークショップ映像を作成して当館 Youtube で公開するなど、本趣旨の実現に多々貢献いただいているところです。

また、前述の趣旨を実現するため、「奈良県内文部科学省 4 機関における連携・協力に関する協定書」(平成元年 5 月)を結びました。この協定の目的に示されているように、「奈良でこそ学ぶことができる教育の枠組みを構築し、未来社会を牽引する人材を地域・社会に輩出すること」は、奈良県内文部科学省機関にとって非常に重要な役割であります。

伝統文化とりわけ文化財の専門的知識の上に立って、当館で収蔵する文化財を教育という視点から捉え、そこから、本物の感動を得、想像力を逞しくするために、どのようなファシリテーターやどのような体験がなされなければならないのか、その具体化が可能な人材の育成を貴学大学院において鋭意進めていただけるよう大いに期待しているところであります。是非、貴学大学院改組に際して、それらの教育が実現できるような組織としていただきたく、ここに強く要望いたす次第です。

以 上



CONSULATE GENERAL OF THE REPUBLIC OF KOREA

2020年11月10日

国立大学法人奈良教育大学長

加藤 久雄 殿

駐大阪大韓民国総領事

吳泰奎 印



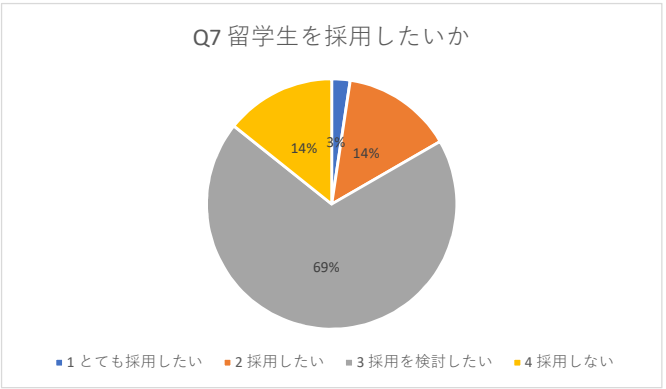
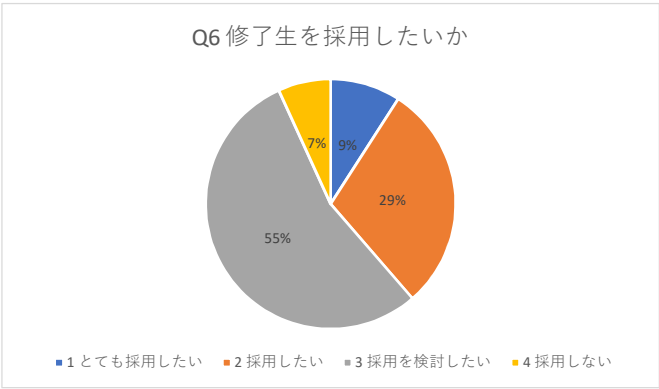
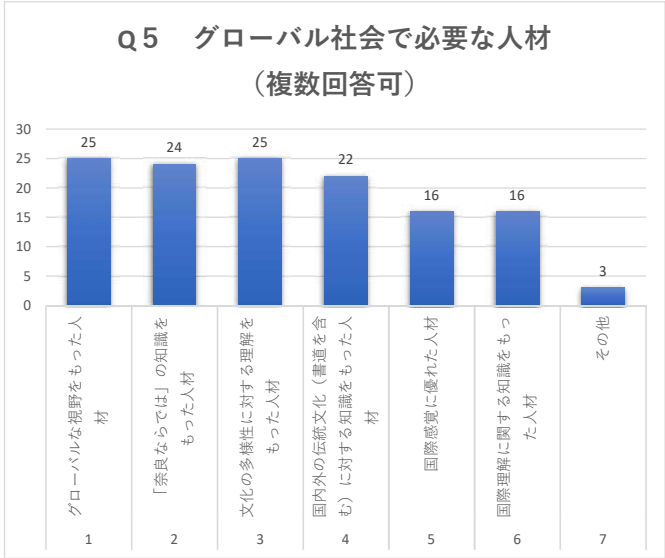
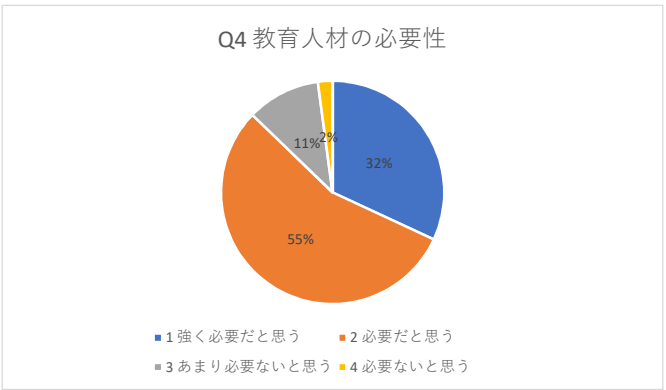
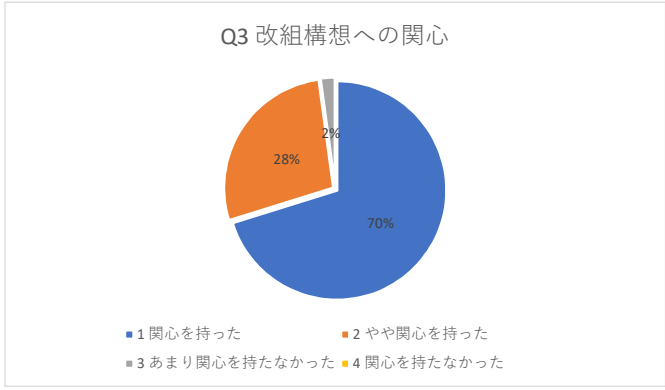
奈良教育大学への期待について

奈良教育大学が現在検討中の大学院修士課程構想に賛同いたします。

これまで継続的に実施されてきた、百済シンポジウム等、韓日の文化交流・学術研究交流が引き続き、奈良の地で行われることには大変意義があり、大韓民国から日本への留学生派遣に際して尽力したいと考えております。

奈良教育大学において、伝統文化を中心とした国際理解の教育・研究が引き続き行われ、より一層、韓日の文化交流・学術研究交流が深まることを期待しております。

以上



【自由記述欄】

- ・当社では2名在籍頂いております。営業、システム関係で活躍して頂いております。期待しております。
- ・自国の文化へ理解なくして他国の文化を真に理解はできない。比較するものさし＝自国文化、自分のレーゾンテートルを振りと教育で、家庭で身に付けることが大変重要と考えます。三菱UFJグループでお力になれることがあれば、是非、貴学構想に参加させて頂きたいと思えます。
- ・世界に誇る奈良の文化を深く広く伝えるバイオニアの育成はとても大切な事と考えます。
- ・最重要な事柄は人材育成の能力を有するリーダーが多く必要であると痛感しておりますので、今後「教育」に尽力されることを期待しております。
- ・奈良の伝統文化を維持するには、正統な知識を身につけるシステムがぜひ必要で、強いては、SDGsの実現に向かうものと思えます。
- ・多くの分野の知識を持った人材が必要と考えます。
- ・日本の大学教育の指す方向として期待できる。
- ・地域に根差した人材で、国際感覚を身につけた人材は、これからの時代を生きぬいていく上で、絶対必要がと思えます。
- ・海外で仕事をした時、書道と折紙を紹介したことがあります。大変興味を持っていただきました。（アメリカ、ニューヨーク）
- ・奈良の発展のためにも頑張ってください。
- ・教育という分野は必要と認識しているが、そこに特化した人材ではなく、それもできる人材が欲しいところである。結局のところ個々であるが。。
- ・伝統文化・産業の継承及び発展に尽力でき、新しい視点で国際社会とのパイプづくりが出来るような人材が望まれます。又、SDGsの考え方をあらゆる場面で実装できるような考えを持つことが重要であると思えます。
- ・職人としての手仕事にも理解を。
- ・私共は書道と関わりが深い会社です。その書を表装業として今後、書の表現にをどのように今の時代にあった形にしていくか、別紙1（構想案）の特色を行かせる様、展開を考えていく必要があると今、実感している所です。
- ・日本国家の形成の基盤である「伝統文化」を次世代の子ども達に繋げていく為にも、広い知識と奥深い専門技量を持った教育の指導者が必要だと考えます。伝統文化に裏付けされた知識を生かし、グローバル化の流れにも遅れをとらない発想を有する人材を育て、教育を通じて「国家の計」を実現出来る人材を育成するそんな機関が今是非とも必要です。「大学院構想、伝統文化（書道含む）教育・国際理解教育専修」が実現する事を強く望みます。
- ・日本及び奈良が今度、世界的な視野で発展していくためには、各地の伝統文化に対する知識を持った人材が必ず必要になってくると感じています。伝統文化をどう伝えるのか？どのようにお金を生むのか？など、具体的に出口を見据えた上で戦略をイメージする力のある人材の輩出が急務だと思っています。
- ・奈良の地に根差した伝統文化に対する理解をより深めて、その中から新しい方向性を見出し、多方面で活躍される人材を期待しています。
- ・（※）当財団では、二十年来、新規採用を行っておりません。このため、採用の可能性は少ないと思われれます。しかし、書文化の普及・振興のためには、教育的視点を持ち、幅広い世代一特に若い世代へへ発信していくことが欠かせません。また、観光地区の美術館として様々な国籍の観光客を迎えておりますが、その殆どは美術・書鑑賞の初心者と思われれます。書の展覧から奈良の文化を理解していただけるよう、伝え方を工夫しなければなりません。当館にとって貴大学との協力・連携は、奈良において書文化の普及・振興を図る意義を共有し、幅広い世代とより広い視野で事業を展開することができる貴重な機会として期待致します。
- ・自国文化と他国文化との距離感及び共通点等を他者にわかりやすく伝えられる能力を有する人材
- ・幅広い知識を習得されていることは勿論のこととは考えますが、一般的な社会人としての規範を身につけておられる事も大切と思えます。
- ・伝統文化に携わる方々は1000年以上の歴史を背負って、次の1000年を見据えて日々の仕事をされています。その思いとプライドは、単に表面的なものを学べば理解できる、というものではないと思えます。全国様々な土地に「伝統文化」はあります。その中でも奈良は特殊ですし、その特異性を理解し、現場の方々の思いを汲んだ内容にしなければ意味がないと思えます。奈良の生きた伝統を常に吸収しながら生徒に教育していく覚悟がないと現場の方々に失礼にもあるので、新しい専攻を作られるのであればその辺りを十分に注意して進めていただきたいです。
- ・奈良の伝統工芸品が消費者に受け入れられている実態と変遷について研究していただければ参考になります。
- ・奈良の伝統工芸の後継者育成の現状と問題点を研究していただきたい。
- ・奈良の伝統文化持続教育発展にも力を入れていただきたいです。

奈良教育大学 大学院改組に関わるアンケート調査

国立大学法人奈良教育大学長

奈良教育大学においては、大学院改組を予定しております。構想（別紙1：奈良教育大学 大学院構想案概要）に関連して、皆様の率直なご意見をお聞かせいただければ幸いです。

【質問1】 貴殿についてお尋ねします。

貴社名 : ()
 役職名 : ()

【質問2】 貴社の業種についてお尋ねします。該当する番号のいずれかひとつに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 教育（博物館・美術館含む） | 2 ソフトウェア・通信 |
| 3 医療・福祉 | 4 官公庁・公社・団体 |
| 5 サービス・インフラ | 6 メーカー |
| 7 広告・マスコミ | 8 商社・流通・小売 |
| 9 金融 | 10 その他 () |

以下は、とりわけ新修士課程の構想に関連してお尋ねします。

別紙1「奈良教育大学 大学院構想案概要」をご覧ください、ご記入ください。

【質問3】 別紙1の構想をご覧になり、養成する人材像、身に付ける能力、特色等について、どの程度関心をお持ちになりましたか。該当する番号のいずれかひとつに○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 関心を持った | 2 やや関心を持った |
| 3 あまり関心を持たなかった | 4 関心を持たなかった |

【質問4】 貴社において、教育に関わる知識や技能を有する人材が必要だと思いませんか。該当する番号のいずれかひとつに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 強く必要だと思う | 2 必要だと思う |
| 3 あまり必要ないと思う | 4 必要ないと思う |

【質問5】 グローバル化が進み、社内外において、多国籍化が進む中、貴社にとってどのような力を有する人材が必要だと考えますか。該当する番号に○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| 1 グローバルな視野を有する人材 | 2 「奈良ならではの」知識を有する人材 |
| 3 文化の多様性に対する理解を有する人材 | |
| 4 国内外の伝統文化（書道を含む）に対する知識を有する人材 | |
| 5 国際感覚に優れた人材 | 6 国際理解に関する知識を有する人材 |
| 7 その他（具体的に：) | |

【質問6】 別紙1の構想の下、伝統文化や異文化理解、国際理解等について、大学院において教育の観点から学び、専門的な知識をもった学生を採用したいと思いませんか。該当する番号のいずれかひとつに○をつけてください。

- | | |
|------------|---------|
| 1 ぜひ採用したい | 2 採用したい |
| 3 採用を検討したい | 4 採用しない |

（裏面に続く）

【質問7】別紙1の構想の下、学んだ学生のうち、特に留学生を採用したいと思いませんか。該当する番号のいずれかひとつに○をつけてください。

- | | |
|------------|---------|
| 1 ぜひ採用したい | 2 採用したい |
| 3 採用を検討したい | 4 採用しない |

【質問8】本構想に対する期待・ご意見(どのような人材が必要か等)についてお聞かせください。

質問は以上で終わりです、ご協力ありがとうございました。

専攻名	伝統文化教育・国際理解教育専攻
専修名	伝統文化（書道含む）教育・国際理解教育専修
入学定員	20名
養成する人材像	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 伝統文化の持続発展教育や国際理解教育を通じて、<u>多文化共生社会の実現に貢献</u>できる人材 ▶ 地域・日本・世界において<u>伝統文化の持続発展教育や国際理解教育をリード</u>できる人材
身に付ける能力	<p>（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 伝統文化の持続発展や異文化理解に資する日本や諸外国の文化・歴史・教育に対する知識 ▶ 学術的な価値をもち、<u>伝統文化教育や国際理解教育に関する現状課題の解決</u>に資する研究の遂行と、その成果を論文やプレゼンテーションによって地域・日本・世界に発信できる技能 ▶ 研究の過程で身に付けた知識を活かし、地域・日本・世界において、<u>伝統文化の持続発展や国際理解教育をリード</u>できる技能 <p>（思考力・判断力・表現力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自らの関心と知識を活かし、伝統文化教育や国際理解教育に関わる課題を<u>論理的・批判的・建設的に探究・解決しようとする思考力</u> ▶ グローバル化が進む社会において、自らの研究の意義と効果を的確に判断できる力 ▶ 研究過程において、<u>自ら立てた課題や仮説・方法・進捗等を的確に伝える力</u> <p>（意欲的に学び続ける力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 伝統文化の持続発展教育や国際理解教育に関わる課題を解決し、<u>持続可能な社会創造に貢献</u>しようとする意欲 ▶ 地域・日本・世界において<u>多様な人々と協働して</u>課題に取り組む研究態度
特色	<ul style="list-style-type: none"> ▶ これまで本学が実施してきた、<u>奈良の地に根差した</u>伝統文化・文化遺産教育を継続・発展 ▶ <u>「伝統文化・文化財」、「異文化理解」</u>の二本柱 ▶ 外国人と日本人の共修 ▶ 人・環境・文化遺産との対話を通じた教育の追究 ▶ <u>教育の立場からSDGsの実現を目指す大学として地域や社会への貢献</u>

※ 専攻名等は仮称、入学定員は予定